

第179回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成23年2月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

| 地区別 | 人口 | | | 世帯 | | |
|-----------|---------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 人数 | 前年同月比 | 前月比 | 世帯数 | 前年同月比 | 前月比 |
| 中心部 | 9,674 | -0.77 | 0.01 | 4,055 | -0.14 | 0.00 |
| 東部地区 | 14,372 | -0.10 | -0.02 | 5,717 | 1.43 | 0.03 |
| 西部地区 | 10,665 | -0.85 | -0.07 | 4,013 | 0.09 | 0.00 |
| 駅南地区 | 6,271 | -0.66 | 0.07 | 2,663 | 0.33 | 0.07 |
| 半田地区 | 3,623 | -0.13 | 0.00 | 1,361 | 0.51 | 0.14 |
| 横山地区 | 5,661 | -0.47 | -0.01 | 1,874 | 0.00 | -0.21 |
| 茨目・田尻地区 | 6,986 | -0.24 | 0.14 | 2,353 | 0.34 | 0.25 |
| 荒浜地区 | 5,060 | -1.03 | -0.29 | 2,010 | 0.39 | -0.39 |
| その他地区 | 20,513 | -1.87 | -0.14 | 7,163 | -0.15 | 0.11 |
| 西山町地区 | 6,240 | -1.20 | -0.04 | 2,123 | -0.37 | -0.04 |
| 高柳町地区 | 1,879 | -3.39 | -0.52 | 839 | -1.17 | -0.11 |
| 柏崎市計 | 90,944 | -0.93 | -0.05 | 34,171 | 0.24 | 0.01 |
| 刈羽村 | 4,886 | -0.38 | 0.10 | 1,560 | 0.90 | 0.19 |
| 小国地区（長岡市） | 6,246 | -2.46 | -0.19 | 2,118 | -1.30 | 0.04 |
| 出雲崎町 | 5,112 | -1.40 | -0.01 | 1,806 | -0.27 | 0.16 |
| 合計 | 107,188 | -1.02 | -0.05 | 39,655 | 0.15 | 0.03 |

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で860人、0.93％、刈羽村で19人、0.38％、小国地区（長岡市）で158人、2.46％、出雲崎町で73人、1.40％とそれぞれ減少し、全体では1,110人、1.02％の減少となっている。また、前月比においても、刈羽村で5人、0.10％と増加したものの、柏崎市で54人、0.05％、小国地区で12人、0.19％、出雲崎町で1人、0.01％と減少したことから、全体では62人、0.05％の減少となった。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で28世帯、1.30％、出雲崎町で5世帯、0.27％と減少したが、柏崎市で82世帯、0.24％、刈羽村で14世帯、0.90％と増加したことから、全体では63世帯、0.15％の増加となった。また、前月比においても、柏崎市で6世帯、0.01％、刈羽村で3世帯、0.19％、小国地区で1世帯、0.04％、出雲崎町で3世帯、0.16％と増加した結果、全体では13世帯、0.03％と増加している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

| | 柏崎職安 | 新潟県 | 前年同月比 | | 前月比 | |
|----------|-------|------|-------|-------|--------|--------|
| | | | 柏崎 | 県 | 柏崎 | 県 |
| 月間有効求人 | 1,165 | | 13.10 | | 2.91 | |
| 月間有効求職者 | 2,134 | | -7.69 | | 5.07 | |
| 月間有効求人倍率 | 0.55 | 0.67 | 0.10* | 0.18* | -0.01* | -0.01* |

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,165人と前年同月比で135人、13.10％の増加、前月比でも33人、2.91％と増加している。

一方、月間有効求職者数は2,134人と前年同月比で178人、7.69％の減少となったが、前月比では103人、5.07％の増加となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.55倍と前年同月比で0.10ポイント上回ったものの、前月比では0.01ポイント下回っている。なお、県平均0.67倍と比べると0.12ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が508人と前年同月比で19人、3.88％の増加、月間新規求職者数では678人と前年同月比で63人、10.24％と増加した結果、月間新規求人倍率は0.75倍となり、前年同月の0.80倍に比べて0.05ポイント下回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

| | 当 月 の 申 請 | | | 平成22年度累計 | |
|-----------------|-----------|-------|-------|----------|-------|
| | 件 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 件 数 | 前年同月比 |
| 一 般 住 宅 (併 用) | 12 | -11 | 3 | 228 | -138 |
| 共 同 住 宅 | 0 | -1 | 0 | 5 | -5 |
| 事 務 所 | 1 | 1 | 1 | 5 | -4 |
| 作 業 所 ・ 工 場 | 0 | -1 | 0 | 10 | 7 |
| 営 業 建 物 | 0 | -2 | -1 | 12 | -11 |
| 公 共 建 物 | 0 | -1 | 0 | 1 | -2 |
| そ の 他 | 0 | -8 | -3 | 71 | -24 |
| 合 計 | 13 | -23 | 0 | 332 | -177 |

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が13件と前年同月比で23件の減少、前月比では増減なしとなっている。工種別における主な増減は、前年同月比では一般住宅（併用）で11件、その他で8件減少している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が7件、増築が5件、改築が1件となっている。また、一般住宅（併用）12件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が8件（うち新築5件、増築3件）、市外施工業者が4件（うち新築1件、増築2件、改築1件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

| | 契 約 口 数 | | | 使 用 量 | | |
|-----|---------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 口 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 使 用 量 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 電 灯 | 65,145 | 0.29 | -0.10 | 27,380 | 4.78 | -9.09 |
| 電 力 | 10,915 | -2.23 | -0.25 | 42,802 | 2.70 | 4.24 |

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で192口、0.29%の増加となったものの、前月比では68口、0.10%と減少している。一方、電力においては、前年同月比で249口、2.23%の減少、前月比でも28口、0.25%の減少となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で1,251kwh、4.78%の増加となったが、前月比では2,740kwh、9.09%と減少している。一方、電力においては、前年同月比で1,127kwh、2.70%の増加、前月比でも1,744kwh、4.24%と増加している。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

| | ガ ス 供 給 量 | | | 水 道 給 水 量 | | |
|-----------|-----------|-------|--------|-----------|-------|--------|
| | 供 給 量 | 前年同月比 | 前 月 比 | 給 水 量 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 家 庭 用 | 1,823,120 | -4.14 | 2.73 | 668,449 | -0.91 | -2.85 |
| 営 業 用 | 301,831 | -9.26 | -17.35 | 112,286 | -2.48 | -6.13 |
| 工 場 用 | 772,577 | -2.19 | -15.09 | 118,825 | -4.95 | -12.02 |
| 官 公 学 校 用 | 745,939 | 4.72 | -5.57 | 74,276 | -2.94 | -8.72 |
| そ の 他 | | | | 86 | 91.11 | 186.66 |
| 合 計 | 3,643,467 | -2.49 | -5.11 | 973,922 | -1.76 | -4.90 |

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で93,397m³、2.49%の減少、前月比でも196,255m³、5.11%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では官公学校用を除くすべての用途で減少、前月比でも家庭用を除くすべての用途で減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で17,461m³、1.76%の減少、前月比でも50,265m³、4.90%と減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比ではその他を除くすべての用途で減少、前月比でもその他を除くすべての用途で減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

| | 入 口 | | | 出 口 | | |
|-----|---------|-------|-------|---------|-------|-------|
| | 台 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 台 数 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 柏 崎 | 70,933 | 1.42 | -3.09 | 73,630 | -0.72 | -2.55 |
| 西 山 | 31,380 | -2.33 | -1.86 | 27,839 | -2.64 | -3.77 |
| 米 山 | 13,378 | -1.73 | 11.39 | 13,008 | 0.20 | 13.31 |
| 合 計 | 115,691 | 0.01 | -1.27 | 114,477 | -1.09 | -1.28 |

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で13台、0.01%の増加、前月比では1,489台、1.27%と減少している。

一方、出口においては、全体では前年同月比で1,262台、1.09%の減少、前月比でも1,491台、1.28%の減少となった。

インター別で見ると、前年同月比では入口で柏崎インターのみが増加、出口では米山インターのみが僅かに増加しており、前月比では入口・出口ともに米山インターのみが大幅な増加となっている。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

| | 預 金 | | | 貸 出 金 | | |
|-----|---------|-------|-------|---------|-------|-------|
| | 残 高 | 前年同月比 | 前 月 比 | 残 高 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 末 残 | 357,577 | -1.70 | 0.06 | 146,891 | -3.31 | -0.88 |
| 平 残 | 357,097 | 0.10 | -0.13 | 147,231 | -1.11 | -0.65 |

預金は、末残が前年同月比で6,204百万円、1.70%の減少となったものの、前月比では221百万円、0.06%と増加している。また、平残においては、前年同月比で372百万円、0.10%と増加したが、前月比では494百万円、0.13%と減少している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で5,041百万円、3.31%の減少、前月比でも1,316百万円、0.88%と減少している。また、平残においても、前年同月比で1,656百万円、1.11%の減少、前月比でも970百万円、0.65%の減少となっている。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

| | 枚数/金額 | 前年同月比 | 前 月 比 |
|---------------|--------|--------|--------|
| 交 換 枚 数 | 27,530 | -5.57 | -14.86 |
| 交 換 金 額 | 20,520 | -0.06 | -21.87 |
| 不 渡 り 手 形 枚 数 | 2 | -96.77 | -80.00 |
| 不 渡 り 手 形 金 額 | 0 | -99.08 | -94.05 |

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で1,625枚、5.57%の減少、前月比でも4,807枚、14.86%と大幅に減少している。また、交換金額においても前年同月比で14百万円、0.06%の減少、前月比では5,745百万円、21.87%の大幅な減少となっている。なお、不渡手形は2枚、406千円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産8件（前年同月4件、前月4件）、負債総額35億円（同5億円、同15億円）となっている。地区別では、下越地区で6件（新潟市5件、胎内市1件）、上越地区で2件（上越市2件）となり、中越地区では発生していない。業種別は、建設業2件、製造業1件、販売業2件、サービス業1件、その他2件となっており、倒産原因については、販売不振5件、経営者の病気・死亡1件、その他2件となっている。

当月の企業倒産は8件、負債総額で35億円と、前年同月比では件数で4件の増加、負債総額でも30億円の増加となっている。

県内経済は、持ち直しの動きが続いているものの、足踏みもみられるなど、依然として厳しい状況にある。個人消費・物価は、持ち直してきているが、弱い動きもみられる。雇用面は持ち直しの動きが弱まっているものの、引き続き厳しい状況となっている。また、企業収益・景況感、改善の動きが弱まっている。